



今回は、K邸の取材をしていただきました。
また、今回も裏表紙はユーロJスペースが
掲載させていただきました。

北欧住宅でくらしたいと思っていたK様。
「デザイン性が高く、家づくりに情熱がる」という事でユーロJスペースで建築していただきました。

プランニングでは、「シンプルな北欧モダン、リゾートのカフェのような雰囲気、家族の気配を感じられるようにと、リビングに階段をプランニングされました。テレビ台を間仕切りにしリビングをより広く、開放的に見せています。

外観の基礎に色を着色することにより、より北欧色がでています。



物件紹介では、1様邸を紹介させて頂きました。

「家のモデルハウス見学会」

建物とは違った表情を見せる夜はほほい。照明が作り出す陰影の美しさや、露上庭園の心地よさに驚かれる方も多いとか。夜のはほほいを体感することで、もっと心地よい暮らしのヒントが見つかるはず。夏の夜を癒すアロマの香りと心地よい音楽が流れる空間の中で、ゆっくりと見学することができればのうれしい限り。この機会に、夜ならではの表情をぜひ見せてあげてはどうだろうか。

お開き時間・要予約
 期7/21(月)～8/31(金)
 開催時間・木・金・土 (20:00～22:00頃)
 開催先モデルルーム TEL.0120-074-186
 開催先モデルハウス TEL.0120-075-176

賞状データ

神奈川県A地区
 敷地面積・273.52㎡ (92.7坪)
 延床面積・133.95㎡ (40.9坪)
 竣工年月・2008年9月
 工法・構造・2x6
 家族構成・夫婦+子供2人
 参考総価格・3140万円

パーツリスト

外観・露上庭園 (フランス)
 キッチン・木製3層ガラス窓 (スクエード)
 フローリング・無垢パーチ材 (フィランド)
 壁・天井・バイト (オーストラリア)
 手すり・オリジナルロードファン

仕様

2x6・2x4工法。「木製3層ガラス」[24時間換気システム]「蓄熱式温水床暖房」[天然ケール断熱材]を採用し、健康・環境に配慮した住宅

保証・メンテナンス

第三者機関の社外検査による10年保証 (建物がありつづける限り永続的に更新可能)

カタログ

ユーロJスペース作品集と共に、おまかせに書立っスクリーンをお届けします。切り抜き、好きな色などスクラップして下さい



会社データ

総社 東京都千代田区千代田4-10-12(12461)
株式会社ユーロJスペース
 http://www.euroj.com
 〒150-012 東京都目黒区目黒5-52-17(MAJURA EASTMARK)
 03-3479-1111
 ユーロJスペース 関東 (本社) TEL.0120-074-186
 ユーロJスペース (関西・西京) TEL.0120-193-630
 ユーロJスペース (中部) TEL.0120-056-055

関東・関西・中部・九州・四国・東北
 販売エリアは別途お尋ねください

20万円	30万円	40万円	50万円	60万円	70万円	80万円
------	------	------	------	------	------	------

お見積りには必ずお見積り書をお送りいたします。
資料請求方法



オープンタイプのキッチンも開放的。高さも奥行きも合わせてオーダーした



自然光が溢れる開放的な空間。ホワイトの空間にビッドな床のアクセントに

窓からのアプローチ、まるでヨーロッパの邸のような美しさ。在るべき空間を創ることで完成した空間である

種別一がインスピレーションし、描いたイメージベース それらを実現する家を建ててみたい方はいませんか？



住まいには、その人のこだわりが宿るべきものです。しかし多くの人の場合、「こんな家に住みたい」という漠然としたイメージはあるものの、それを具体的にしたいところとした瞬間、どんなものがいいのかわからない」ということになりがちです。そこで私たちはユーロJスペースでは、まず4つのイメージベースを用意しました。これらは種別一がインスピレーションやデザイン、ニューヨークなどマインスピレーションし、描いたもの。住まいのほんの一部ですが、これをトリガーに家づくりを進めていくと、意外に素敵な、自分らしい住まいが完成するかも知れません。種別一のインスピレーションを、実際に一緒に進めていきながら進めていく方がいらしゃれば、ぜひお会いしたいです。

専属建築デザイナー 種別一



ユーロJスペースは、お客様の理想の暮らしを実現するためのサポートを、お見積りからアフターフォローまで、一貫して提供させていただきます。



フランス調の露上庭園に木製3層ガラス窓の扉。窓の形状に変化をつけることで、空間の広がりを際立たせる工夫を施している

ユーロJスペース
 陽だまりの丘にある外門。緩やかなカーブを描くスロープを抜けると、そこは私たちのプチホテル

ソファや照明などにビッドな色合いを採用

「カントリーな雰囲気に包まれて暮らしたい。でもパイン材ばかりを使うのは、いかにも、という家にはしたくないな」という声に、「あれもこれもいい」という要望に、種別一さんがかかり交通整理してくれました。おかげでパラノアのいい家になりました。」
 ユーロJスペースでは、建築デザイナーである種別一氏がプロデュースする。住まい全体の設計、デザインはもちろん、インテリアや照明、ファブリックに至るまでトータル提案してくれるのだ。パイン材などを中心に使用し、全体をホワイトを基調とした空間に仕上げた。同時にソファや照明、壁などに赤やグリーンといった色を取り混ぜ、カントリー風でありながらスタイリッシュな住まいに仕上げたのだ。
 「種別一さんは立体的なイメージベースをその場で描いて説明してくださるので、イメージが掴みやすくて満足度の高い家になりました。」
 ● 取材・文 佐藤 仁